2月20日(土)

※敬称略、2016年1月現在(プログラム、会場、講演者は都合により変更になることがあります。)

会場名	9：00～9：45	10：00～10：45	休憩	11：15～12：00	休憩	13：15～14：00	14：15～15：00	休憩	15：45～16：30	16：45～17：30	17：45～18：30	休憩	18：45～20：30
第1会場 5F：501 (収容数330名)	獣医肝胆膵Study Group 犬の慢性肝炎と肝生検 坂井 学・賀川由美子・金本英之・内田和幸			企業主催プログラム ゾエティス・ジャパン(株) 放っておけない犬の歯周病 —見逃しやすい歯周病とその対策— 戸田 功		企業主催プログラム DSファーマアニマルヘルス(株) 犬猫におけるてんかん治療：抗てんかん薬の使い方 長谷川大輔	企業主催プログラム 富士フイルムメディカル(株) 嘔吐のプロファイリング：生化学(POC)検査の読み方 大野耕一		ふるえと斜頸 伊藤大介				懇親会
第2会場 5F：502 (収容数326名)	猫の歯肉口内炎をどうするか? 藤田桂一	犬の嫌な抜歯を上手く行う方法 藤田桂一		企業主催プログラム ベーリンガーインゲルハイム ベトメディカ ジャパン(株) 猫の慢性腎臓病に RAAS抑制薬はどう使うべき? 星 史雄		企業主催プログラム アイデックスラボラトリーズ(株) 腎臓病を早期発見するための新しい検査：SDMA 石田卓夫			内科疾患の疼痛管理 佐野忠士				
第3会場 5F：503 (収容数448名)	みんなで考える看護；「癌」患者の看護について熱く語ろう!【シンポジウム】 [VNセミナー] 徳永沙弥香・下川健太郎・小嶋哲也・鈴木 望・安倍里梅			企業主催プログラム バイエル薬品(株) これまでにない「予防力を持った新しい内外部寄生虫薬「アドボケート®」のご紹介 Roland Schaper		Bayer Veterinary Care Usage Study Ⅲ John Blake	日本における「猫にやさしい医療」の実態と将来予測 氏政雄揮		日本獣医皮膚科学会 生涯教育セミナー「実践編！内分泌性皮膚疾患—実例を通じて対策を学ぶ—」 甲状腺機能低下症 村山信雄	共立製薬 副腎皮質機能亢進症 関口麻衣子	性ホルモン失調 大隅尊史		
第4会場 5F：511＋512 (収容数124名)	獣医医療開発株式会社 危険な徐脈性不整脈の診断と治療 福島隆治			JCVIM 症例検討・研究発表 循環器 4-01～4-04		JCVIM 症例検討・研究発表 代謝・内分泌 4-05～4-11			喉頭麻痺の診断と治療 末松正弘	日本動物病院協会(JAHA) 前十字靭帯疾患に対する病態生理と診断 林 慶			
第5会場 4F：411＋412 (収容数148名)	嚥下障害を考える【シンポジウム】 口腔疾患による嚥下障害 渡邊一弘	咽頭・食道疾患による嚥下障害：鑑別診断とその臨床徴候 大田 寛		JCVIM 症例検討・研究発表 エキゾチック 5-01～5-03	12:15～13:00 JCVIM メンバー会議	JCVIM 症例検討・研究発表 看護／社会 5-05～5-12			バイエル薬品株式会社 動物抗菌剤研究会／獣医臨床感染症研究会／JCVIM バイエル薬品株式会社 【合同シンポジウム】「獣医療現場における薬剤耐性菌の状況と抗菌薬治療」 伴侶動物医療における薬剤耐性菌・薬剤感受性率について 露木勇三 各種疾患における分離細菌と薬剤感受性の推移(日獣大でのデータ) 片岡 康	血液培養の実際と敗血症の治療 村田佳輝	多剤耐性菌感染症にどう立ち向かうか?—ESBLとMRSについて— 原田和記		泌尿器の超音波と尿検査のいろは 下川孝子
第6会場 4F：413 (収容数125名)	日本比較臨床医学会 検査データを読む前に知っておきたいこと 中島公雄	検査データを活用するために必要なこと 根尾櫻子		JCVIM 症例検討・研究発表 眼科 6-01～6-03		JCVIM 症例検討・研究発表 泌尿器 6-05～6-12			正しい点眼薬の使い方 滝山直昭	日本獣医眼科カンファランス(JVOC) Meni-One データからみる「ぶどう膜炎」 前原誠也			甲状腺疾患・診断と治療の基本 西飯直仁
第7会場 4F：414＋415 (収容数150名)	中部小動物臨床研究会 心臓外科医が見る世界 —僧帽弁閉鎖不全診療アップデート— 三原吉平			JCVIM 症例検討・研究発表 腫瘍 7-01～7-04		JCVIM 症例検討・研究発表 歯科・口腔／皮膚 7-05～7-12			動物医療発明研究会 診療に役立つアイデアを教えます —少しの工夫で臨床力アップにつなげる— 中山正成	日本獣医臨床病理学会 猫の早期腎障害における Apoptosis Inhibitor of Macrophageの応用 森 伸子	犬の組織球性肉腫に対する Apoptosis Inhibitor of Macrophageの応用 米澤智洋		X線読影の基礎と応用 前田貞俊
第8会場 4F：416＋417 (収容数152名)	マルチスライスCTによる無麻酔下撮影の現状【シンポジウム】 東芝医療用品株式会社 適応症とその実例：胸部編 藤田道郎 東芝医療用品株式会社 東京大学の取り組み 藤原玲奈	豊富な経験から見えてきたこと 谷浦督規		JCVIM 症例検討・研究発表 肝・膵 8-01～8-03		JCVIM 症例検討・研究発表 肝・膵 8-05～8-10			膀胱内腫瘤に対する腫瘍生検ビジュアルガイド —失敗しない外力性カテーテル法— 中野優子	日本獣医がん学会 その胸水・腹水は腫瘍性?それとも非腫瘍性? 顕微鏡から学ぶ明日から使える胸水・腹水の細胞診と臨床病理アップデート 小笠原聖悟			ちゃんとできてる？皮膚の検査 大隅尊史
第9会場 4F：418 (収容数133名)	讃岐みのり研究会 がん薬物療法における曝露対策 久保田 馨	獣医療における化学療法薬(抗がん剤)の曝露対策の現状と展望 入江充洋		JCVIM 症例検討・研究発表 腫瘍 9-01～9-04		JCVIM 症例検討・研究発表 腫瘍 9-05～9-12			イヌとネコとヒトの健康を考える会 ネコの健康・病気 腎臓を考える 北川 均	犬の慢性腸症：腸炎とリンパ腫のはざま【シンポジウム】 診断アプローチと内視鏡検査 大野耕一 クローン性解析 日吉沙綾	病理組織所見と血清学的検査 内田和幸 予後 中島 亘		
第10会場 4F：419 (収容数132名)	共立製薬 日本小動物血液療法研究会【シンポジウム】 共立製薬 犬と猫の輸血のための採血法の指針(基調講演) 長島友美	献血ドナー確保 —成功例に学ぶ—(ワークショップ) 石原喜代司・中野優子・小林 輔		JCVIM 症例検討・研究発表 感染症 10-01～10-04		JCVIM 症例検討・研究発表 血液 10-05～10-12			心エコーで予後を評価する —犬の僧帽弁疾患の場合— 中村健介	麻酔をためらいがちな時【シンポジウム】 フクダ エム・イー 工業株式会社 肝臓疾患のある患者に対して 浅川 誠	アコマ医科工業株式会社 呼吸疾患のある患者に対して 鎌田正利		
第11会場 4F：421 (収容数54名)	獣医コミュニケーション研究会(NDK) 飼い主との対話で本当のことを引き出して診察に役立てるには —RIASを用いた獣医療コミュニケーション分析— 理論編 松井匠作	事例編 堀北哲也							株式会社AVS ドライラボ：消化管内視鏡 (事前の登録が必要です) 亘 敏広				
第12会場 4F：422 (収容数54名)	日本医療・環境オゾン学会 循環とオゾン療法 鷲巣 誠	微量オゾンの薬理学的作用メカニズム 三浦敏明							日本獣医臨床寄生虫学研究会 愛玩用爬虫類で問題視される寄生虫病 浅川満彦	知っておきたいちょっと変わった感染症 マダニ媒介性疾患 馬場健司	犬インフルエンザ 松鵜 彩		
第13会場 3F：311＋312 (収容数141名)	日本ペット栄養学会 栄養学的側面からみた犬アトピー性皮膚炎の病態と診断と治療 村山信雄・百田 豊・坂根 弘			JCVIM 症例検討・研究発表 行動 13-01～13-04		JCVIM 症例検討・研究発表 栄養 13-05～13-11			チューブ栄養設置の基本手技 中島 亘	心膜穿刺と胸腔穿刺 高野裕史	胆管閉塞の解除 浅野和之		
第14会場 3F：313＋314 (収容数139名)	クッシング症候群：最近のトピックス 手嶋隆洋	高Ca血症の症例の診断と治療のツボ 奥田 優		JCVIM 症例検討・研究発表 消化器 14-01～14-04		JCVIM 症例検討・研究発表 消化器 14-05～14-12			基礎からの血液疾患 見逃せない血液塗抹での異常 遠藤泰之	骨髄穿刺を日常の検査に取り入れよう！ —手技と基本— 高橋 雅	止血異常の診断と治療 瀬川和仁		
第15会場 3F：315 (収容数168名)	気管虚脱をどうする【シンポジウム】 気管外ステント設置の適応と成績 末松正弘	気管内ステント設置の適応と成績 城下幸仁		JCVIM 症例検討・研究発表 呼吸器 15-01～15-04		JCVIM 症例検討・研究発表 神経／運動器 15-05～15-11			日本獣医動物行動研究会 ヒトとイヌの関係性 荒田明香	オキシトシンの機能と進化 菊水健史	ヒトとイヌの絆形成 永澤美保		
展示会場				展示会場 3F：301～304、フォワイエ									

■参加登録：会場2F 8：30～16：00 ■クローク：会場2F(211＋212) 8：30～21：00